

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2018 年 9 月号 (第 119 号)

発行責任者 佐藤 重松



原爆ドーム (2012 年 11 月 15 日 撮影/中島 峯生氏)



ところざわ倶楽部 文芸講座 東北文学「故郷とどう向き合うのか」

秋草学園短期大学教授及川道之先生にお願いして“一粒で 4 つの味”を楽しむと銘打った「葵の会」協力「ところざわ倶楽部」主催の文芸講座(4 回シリーズ)を開催し、会場一杯となる 95 名(会員 65 名、一般 30 名)の受講者を集めて 6 月 22 日第 1 回を皮切りに、7 月 27 日最終回を実施して成功裡に終了しました。戦後生まれの団塊の世代と呼ばれる人達もこの地に居を構え子育てを終えて古希 70 才を迎える年齢となり、「故郷とどう向き合うのか」との命題は心に痛く食い込んで来る問題だと思います。所沢市の人口は終戦時 5 万人程であったものが現在は 34 万人以上、その大半の市民は他県からの移住者で、故郷は他県にあると思われます。

及川先生自身が岩手県釜石市のご出身ですから受講者側としても興味ある講義でした。一粒(故郷とどう向き合うのか)に対して 4 つの味(柳田國男「遠野物語」宮沢賢治「注文の多い料理店」ほか、太宰治「小説津軽」若竹千佐子「おらおらでひとりいぐも」)を起

承転結に順序建てて講義して頂きました。

盛岡から釜石に至るまで遠野街道が走り、その地域の 119 話の口承民話を世に現した「遠野物語」の素朴さはこの街道に沿って現れた文学者の作品の底流に流れているように思えます。先生は青森出身の太宰治を加えて広く東北文学とされていますが、遠野物語の「素朴さ」を基とした柳田國男、盛岡に石川啄木、花巻に宮澤賢治、今や遠野出身の若竹千佐子をもって遠野文学と言えるのではないかと思います。「おらおらでひとりいぐも」とは遠野地方の方言で、「私は私一人で生きて死んで行く」と言う意味だそうです。結局は啄木が歌っているようにほとんどの人にとって「故郷は遠きにありて思うもの」であり、所沢で生きて死んで行くことになるのでしょう。

故郷を離れてもうどうすることも出来ない年寄りとなった今、考えるのはやはり「おらおらでひとりいぐも」であろうと思います。

(葵の会：水上俊彦)

文芸講座

「遠野物語」・賢治・太宰・若竹「おらおらで…」
「故郷とどう向き合うのか」を終えて 期間：6/22～7/27 4回開催

秋草学園短期大学教授 及川 道之



「故郷とどう向き合うのか」について考えるときに、若竹千佐子『おらおらでひとりいぐも』はとても有用なヒントを与えてくれます。七十歳を過ぎた桃子さんは突然故郷の言葉があふれるように湧きだし、そ

れまで生きてきた日々の出来事をあれこれと、振り返るようになります。幼かった頃、故郷を飛び出し東京で暮らし始めた頃、その後の結婚生活、二人の子育て、夫に先立たれた頃…。

それは自らの記憶の掘り起しでもあり、桃子さんの胸は頻繁に「ばっちゃん」（＝祖母）への思慕の念でいっぱいになります。「ばっちゃん」は桃子さんにとって故郷そのものであり、「ばっちゃん」を想う事は、自分の根っこにあるものを確かめたいとする思いに通じているようにもおもわれます。桃子さんが夕暮れ時に自宅の二階に上がる踊り場の小さな窓から外を眺め「ばっちゃん、おらはここにいる」と語る場面は極めて印象的な描写があります。

生まれた地を離れることなく生涯を終える人生が前提としてあった時代は、『遠野物語』に見られるようにその土地とそこに住んだ人びとにまつわる記憶を次の世代に語り伝えることが重んじられていました。

その後近代に入ってある時期になると、故郷を離れてその後の人生を送ることが特別なことではなくなります。職業と生き方を個人が選択する時代の到来です。

岩手県花巻の質屋兼古着商を営む宮澤家の跡取り息子として生まれた宮澤賢治は、自身の意に反してこの土地で生涯を過ごさなければならぬという、自らにとって過酷ともいえる現実を受け容れ乗り越えんという思いから、岩手の地を「イーハトーブ」、つまりはこの地がひろい広い宇宙の一部であると捉えなおします。大都会東京と同じく広い宇宙を構成する一部である

ことを強く意識したのではないのでしょうか。

青森県内屈指の資産家である津島家の三男として生まれた津島修治＝太宰治は小説『津軽』の末尾で生涯の友として、幼い自分の子守りをしてくれたタケをはじめ数人の名を挙げていますが、その人々はいずれもが津島家に雇われた使用人たちです。その誰もが幼かった自己の全てを無条件に受け入れてくれた存在であり、自分の基盤が財閥津島家のお坊ちゃんにあったことを認めています。

近代化とともに自身で自らの人生を選び取ることが求められる時代が到来します。多くの人が懸命な思いで職に就き、大変な思いで毎日の暮らしを営み続けます。そのように生きて来ある年齢に至ったときに、自分が手にしたものを改めて確認したい、せずにはいられない、そうした思いに襲われるのは極めて自然なことではないのでしょうか。もともと自分の根っことしてあったものとその後の人生で自らが手にしたものとを改めて振り返る…、故郷＝生まれた土地とする通常理解に加え、故郷で出会った人びととの関わりや、そこで過ごした時間など多様な意味を含む総体としての故郷と向き合うことは、現代風に言うところのアイデンティティの確認に他ならず、言い換えるなら記憶の掘り起しであり上書き保存と言えましょう。



文芸講座 講義風景

●葵の会では9月14日から2月8日まで、毎月第2金曜日、及川道之先生の古典講座「古事記 上巻」を6回開催いたします。希望者はご連絡ください。

場所：中央公民館

連絡先 葵の会 池田 04-2940-0711

市民大学は今

間もなく2年次グループワーク発表会開催

第25期市民大学企画委員長 川上 紀春

来る10月11日(木)・18日(木)に第25期所沢市民大学の2年次受講生によるグループワーク発表会が開催されます。

ところざわ倶楽部会員の皆様、是非発表会にご来場いただき、暖かい声援をお願いします。また、ご家族、ご友人もお誘いくださるようお願いいたします。

2年次開始の3月1日以降、指導講師の講義受講、参考資料学習、フィールドワークによる現地調査、グループ討議等を経て7月中には全グループの発表テーマが決まりました。

多くの受講生が夏休みも返上して、熱心に工夫を凝らした発表会用資料作りに励んでいます。約7か月間の短い学習期間ですが、多くの皆様に聞いて・見ていただくことを楽しみに現在も奮闘中です。

発表グループは8グループで、会場及び発表テーマは次のとおりです。

開催場所：所沢まちづくりセンター 中央公民館 ホール

◆入場自由・無料◆

第1日目 10月11日(木) 午後1時30分～4時30分
(受付開始 午後1時)

- ① 日本の農業 「農」のあるまちづくり
～ 農と市民のかかわり方を考える ～
- ② 地域の自然 「再発見 所沢の自然」
～ わたしたちの「宝物」を次世代へ ～
- ③ 所沢の歴史 「歩いて知った所沢の歴史」
- ④ 超高齢社会の福祉 「超高齢社会を生きる」
～ 住み慣れた地域で自分らしく ～

第2日目 10月18日(木) 午後1時30分～4時30分
(受付開始 午後1時)

- ① 音楽 「雅楽に倣(なら)う」～ 四つの風景 ～
- ② 文学 「山本周五郎が描く人間像とことば」
- ③ 古典芸能(歌舞伎) 「歌舞伎の魅力」
～ 青砥稿花紅彩画くあおとぞうしはなのにしきえ>
(白浪五人男) ～
- ④ 住みたいまち所沢 「安心子育て・絆を紡ぐ所沢」

市民大学は今

市民大学26期スタート

第26期市民大学企画副委員長 松澤 慎也

26期は女性が6割

第26期の市民大学がスタートしました。26期では受講生の中で女性の比率が初めて男性を上回り約6割となりました。そもそも65歳以上の男女比を日本全体で見ても女性：男性が57：43と女性のほうが多く、またここへ来て、人手不足が深刻化する状況下、特に男性の雇用延長で70才くらいまで働く人が増えたことなども要因かもしれません。今後の運営など大分変化が出てくる可能性があります。

順調なスタート

授業としては、今年初めて導入した「チバニアン」がやや難しい内容ながら、地質学という普段なじみのない世界に導いてくれ、一段と円熟の度合いを増す阿部先生の「脳の化学」では脳の不思議さを学びました。その後偶数期において初めてである斎藤先生の「美術」では「絵

を『読む』楽しさ」に気づかされ、定番大堀先生の「地域の自然」では、狭山丘陵等身近な自然の大切さを再確認しました。第一回課外授業は6月末にソーラー発電から山口観音を巡り、特に金乗院住職のお話と本尊の見学は得難い経験となりました。第二回は7月末に埋蔵文化財調査センター、白幡塚を回りましたが、いずれも案内の方の説明もあって、所沢の古代から中世に触れる大変良い機会となりました。

開講間もない7月上旬の段階の自由企画では、時間的制約もある中、各グループが趣向を凝らし、立川の極地研見学などに加えて、会食の場を通してお互いを知る良い機会となりました。早い段階での残念な退学もありましたが、総じて見れば概ね順調なスタートを切れたものと思います。夏休みが明けた9月には、所沢の今を学びこれからを考える廣瀬先生の「地方自治」で講義が再開されます。

《葵の会活動報告》 古典の名作と能のコラボ講座大盛況！

葵の会 島川 謙二

「伊勢物語」「源氏物語」「平家物語」と能



竹内好夫師範

「葵の会」は、市民大学第16期の「能と源氏」を学んだ有志が立ち上げたサークルで、現在会員は32名。「ところざわ倶楽部」では「老舗」のサークルです。

今回、葵の会では原点にかえるかたちで4月から7月まで4回、講師に竹内好夫観世流名誉師範をお招きして、「古典の名作と能楽のコラボ講座」を開催しました。古典の名作と能楽の「コラボ」というのは初めての講座に期待がふくらみます。

第1回は『伊勢物語』と能「杜若（かきつばた）」、第2回は『伊勢物語』と能「井筒」、第3回は『源氏物語（夕顔の巻）』と能「夕顔」、第4回は『平家物語』と能「敦盛」「忠度」です。

のべ86ページにおよぶテキストの分量にも竹内講師の熱意が感じられました。

最終回（7月12日）には葵の会会員のほか、ところざわ倶楽部会員、一般の方、さらに先生のお弟子さんなど51名が出席して大盛況でした。

世阿弥による能楽の完成

わが国の古典文学を代表する『伊勢物語（930年ごろ成立）』『源氏物語（1008年ごろ）』『平家物語（1221年以前？）』の中の著名な章段が、200年～400年以上の時を経て、世阿弥元清（1363～1443）によって能楽という演劇空間に、どのように再構築され受け容れられてきたかを学びました。

4回とも前半は『伊勢物語』『源氏物語』『平家物語』の章段を講師が解釈、説明を加えながら読みすすみました。またプロジェクターを駆使され、エピソードを交えながらの講義でした。

田辺聖子の「伊勢物語は恋の見本帳」とか、瀬戸内寂聴の「源氏物語の現代語訳」の紹介とか、「敦盛」は織田信長が桶狭間の合戦に出陣するときに謡ったものとか、平敦盛、忠度をよんだ大和田建樹作詞の『青葉の笛』を出席者で歌うなど、興味がつきませんでした。

「夕顔」「敦盛」は葵の会で以前「源氏物語」「平家

物語」を小川先生の指導で読みましたので記憶があります。熊谷次郎直実の悲劇も知っています。

講義の後半は能の解説です。

今回取り上げた能作品は、いずれも世阿弥の作品です。世阿弥は『風姿花伝』において「当芸において、家の大事、一代一人の相伝なり」と書いています。

能の演者、演出家、演劇評論家としての世阿弥の活躍で能楽がどう大成されたか。世阿弥は原本のほんの一部しか能に取り入れていないこと、1曲のなかに前シテ、後シテが登場する「複式夢幻能」も学びました。



また世阿弥は「杜若」で在原業平を歌舞の菩薩の化身として描き、人間以外の草木なども成仏できると思想的、仏教的解釈を加えています。

能楽は多彩な古典作品を基盤として視覚化・空間化・聴覚化され650年の歴史を誇っているのです。

能は2000～3000作られたようですが、現存し演じられているのは350ぐらいとか。

平家物語に取材したものが36曲、源氏物語が10曲ぐらい残っており、演じられているそうです。

知識を想像力・創造力へ

竹内講師は最終講義のときは紋服、袴姿で『忠度』を実際に謡いながら舞われ、出席者を魅了。十分にたのしませていただきました。

また、斎藤征雄著『世阿弥の能を読む』（幻冬舎）を薦められました。

知識を得ることは、2つのソウゾウリョク、すなわち想像力と創造力を高めるチャンスであると日本人ノーベル化学賞受賞の先生が言われていました。

国立近代美術館の「横山大観展」で大観が描く「杜若」を見たときの驚き、それは新緑がまぶしい5月であったことを思い出し、今回の充実した講義とあわせ自由な「学びの発見」を想いました。

そして『企画』がいかに重要かをも……。 (完)

**「戦争と平和！」
第3回****半分、大地の子**

田中 京子

旧朝鮮生まれと言う事は、いつ頃からか定かで無いが知っていた。「日本國東京都京城府……」と戸籍謄本に記載されている。父の仕事は測量師で、旧朝鮮総統府に勤めていた。オンドルがあり、お手伝いさんも居たらしいから落ち着いた生活だったらしい。住まいは、ソウルから三十分程の住宅街で、今も似た地名が残っている。

次兄が高齢になって、生まれた所を見て来たいと、戸籍謄本を頼りに、十数年前に行ってきた。



平成26年に旧東京駅が復元されたが、此の京城駅は旧東京駅と同じ大正14年に竣工された。此れが駅舎と云うから驚きである。何と荘厳な建造物だろうか…。

両親と兄二人、生まれて間もない私との五人家族の引き揚げである。中国より日本に近かったのが無事に帰れた要因だったと思う。京城府での通貨は日本と同じだったので、オムツや子供の洋服に縫い付けて持って帰れたのが、引き揚げ後の生活の助けになったらしい。家族の中



日本統治時代の京城府

で戦前の話はほとんど聞いた記憶は無いが、引き揚げ船の中で、亡くなった子供の亡骸を海に流した話は鮮明に覚えている。

父の実家、新潟県津南町……に身を寄せた。引き揚げて間もなく、小学生の長男を実家に預け、両親と次兄、私の4人で東京・国立に戻った。仕事が決まっていた事と、住む所が有った事で生活の基盤が出来たのは、引き揚げ者の中では幸せだったのだろうと思う。住まいは甲州街道沿いに在った土木事務所の二階の間借りだった。事務所と言っても、養蚕農家のあとで、二階で蚕を育てていた家で、そこでの記憶は、いつも寝ていて、お医者さんの往診を受けていた。きっと栄養失調だったのだろう。

3、4年後だろうか、国立に出来た今で言う復興住宅に移った。この頃の事は良く覚えている。長男も戻って来た。六畳と四畳半の和室・台所・トイレ。木造平屋建て二戸一の連棟住宅である。三つの連棟住宅が一つの井戸を囲んで使う。こうした形態が5ブロック程出来ていた。小学校も出来たが二部授業で、低学年は午前、高学年は午後。通学は下駄を履いて行った覚えがある。運動会は白足袋だった。栄養補給のためか肝油を配給され、これが嫌いで、ポケットに隠したりしていた。中央線で国立の隣が立川、そこには米軍基地があり、今でも残っている歓楽街があり、国立にも米兵や女性の姿が多く見られ、子供は保護者と一緒でないと立川に行つてはいけないと言われていた。西国立に朝鮮学校もあり、ここも近寄れない雰囲気が有った。

国立は文教地区と規制され遊興施設は禁止され、学園都市として今に至り、立川は商業施設を抱え繁栄している。私の名は京城府の京を取り、京子と付けられ、ケイコと呼ばれる。知らない人からはキョウコさんと呼ばれる。

十・百・千・万・億・兆・京……無限大。京は未来に広がる縁起のいい字らしい。

残りの日々を大事に楽しく過ごしたいと思っている。

サークル活動報告

屋敷林の資源を後世に

所沢の自然と農業 稲村 洋二

7月19日(木)にサークルのメンバー16名、地球環境サークル2名、他2名総勢20名で柳瀬地区にある国の重要文化財“黄林閣”を訪問しました。訪問の目的は“黄林閣”のある柳瀬荘屋敷林の散策路の整備についての打ち合わせを兼ねた現場の視察です。



管理人の針生さんと当日の参加メンバー
柳瀬荘 黄林閣にて

柳瀬荘には広大な屋敷林があり、茶室がある西側は整備が行き届いていますが東側は雑木林・竹林となっており散策するには散策路の整備が必要となっています。管理人の針生さんは自分一人では手が付けられず、業者を入れるには費用がかかり、管理元の国立博物館から予算がつかないとの、悩みを述べておられました。我々のサークル活動の一環として9月の例会で結論を出す予定です。

6月、7月は我々のサークルが運営を主導しています市民大学ファーム(柳瀬地区)、山田ファーム(小手指地区)の夏野菜の収穫が最盛期となりそれぞれ6月28日、7月7日に収穫祭を行いました。市大ファームでは陽子ファームさんに場を借り30名を超える参加者があり、淵野先生をはじめ25期の日本の農業講座の受講生も参加し交流を深めることができました。秋は長野県高山村のリンゴ農家の収穫のお手伝いです。春に花摘みをした木に大きく、真っ赤なリンゴが実っていることを期待しています。

共にいつまでも元気に

活きいきシニア福祉の会 川上 紀春

当サークルは平成27年度に設立、メンバー16名で高齢者福祉・健康に関する学習や食事会など楽しく活動を行っています。

それでは、11期の主な活動を紹介します。

11月：所沢市保健センター 健康づくり支援課による「口腔ケア勉強会」を実施

歯科衛生士 飯田講師より「口腔ケアで健康づくり」と題して、誤嚥性肺炎の予防ポイントについて勉強しました。特に印象に残っているのは、パ・タ・カ・ラ体操です。パタカラと発音することで、唇、舌やその周りの筋肉を鍛えることができ、童謡「もみじ」をパタカラの歌詞で歌って、楽しく体操しました。



口腔ケア勉強会

12月：所沢東消防署にて「普通救命講習会」を受講
心肺蘇生法に関し、心臓マッサージ、人口呼吸、



AEDの使用方法について実技指導を受けました。

3時間の講習でしたが、参加者全員が熱心に取り組み、最後に「普通救命講習修了証」を受領しました。帰りは全員で食事会をして、疲

れたけれど意義ある定例会となりました。

2月：川越の神社・お寺散策

川越の有名な神社・お寺を7か所ほど散策しました。1月に計画していましたが雪で中止となり、2月実施としました。熊野神社境内では「運試し輪投げ」にチャレンジし、盛り上がりしました。

4月以降は、「第7期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」冊子を購入して定期的に勉強会を実施しています。また、市の出前講座も計画中です。所沢も超高齢社会に突進んでいます。これからは福祉・健康に関する知識を深め、元気で楽しく親睦を深めたいと思います。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 2922-6420)

9月14日(金)13:30～15:30 中央公民館 秋草学園短期
大学教授及川道之先生による古事記上巻解説(6回シリー
ズ)(9月～2月)第1回開始、聴講大歓迎 募集中
10月12日(金) 同上 古事記上巻解説第2回

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

9月19日(水) 13:30～ 中央公民館
中国の南シナ海進出問題を考える／稲村会員の報告
10月24日(水) 13:30～ 中央公民館
「日本が満州に鉄道を建設した頃の話ー日露戦争から
満州事変にかけて」 講師:米濱泰英氏

3. 活いきシニア福祉の会(川上紀春 090-5573-2548)

9月26日(水)11:30～13:00 昼食会(予定)
13:30～15:30 生涯学習推進センター102号
所沢市役所出前講座「所沢市の高齢者福祉」
10月24日(水)10:00～12:00 場所未定 定例会

4. 楽悠クラブ (福田 晴男 事前連絡は不要です)

9月25日(火): マリアカラス特集
役員会(11:00～ 和室1号)、暑気払い会(17:00～)
10月15日(月): 鑑賞演目未定
9月・10月例会(13:15～) 中央公民館3階 8・9学習室

5. 食を通して所沢を知る会(園田 ヒロ子 090-4005-1882)

9月4日(火)所沢駅8時50分集合 場所:上尾市「井上ス
パイス工場見学会&埼玉県立歴史と民俗の博物館」
10月2日(火)10:00～12:00 ふらっと(予定)
ミニ講演会「たまごの話 いろいろ」講師は会員の玉上氏

6. 地域の自然を考える会(岩本 賢次 2923-9324)

9月25日(火)10:00～12:00 12号地生保全整備
作業:側路の草刈り、ツル取り、下草刈り、常緑樹の除去など
作業ご希望の方、北中グランド西側のトロ12号地に、参集
ください(事前申し込み不要)

7. 地球環境に学ぶ(中島 峯生 2928-1161)

9月18日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 学習室4号
定例会:環境持寄り学習、DVD「環境レイチェル・カーソンの
警告」鑑賞 *DVD「不都合な真実2」お貸します。
10月16日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 定例会

8. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会(田口 元也 090-9820-5668)

10月3日(水) 13:15～15:00 中央公民館 定例会
議題 第7回「なんでも塾」企画検討
9月30日(土) 10:00～16:00 市民活動支援センター
第6回 市民活動支援センターまつり SP参加

9. 所沢の自然と農業(稲村 洋二 2992-1751)

9月13日(木)13:00～15:00 新所沢公民館 定例会
10月11日(木)13:00～15:00 新所沢公民館 定例会
10月15日～17日 長野リンゴ農家収穫ボランティア

10. 野老澤の歴史をたのしむ会(小川 雅愛 2907-9476)

9月20日(木)9:30 所沢駅改札～15:50 駅バス停終了
東川ウオーク② 旭橋～柳瀬川との合流地点 (雨天中止)
10月4日(木) 9:30～12:30(予) 所沢西エリアを歩く
10月13日(木) 岩崎の鯨獅子舞 見物&歴史を学ぶ

11. ドラマティック・カンパニー (柳澤 千賀子 2968-5035)

9月15日(土)10:00～12:00 中央公民館
10月6日(土)・20日(土)・27日(土)10:00～12:00
中央公民館
「マクベス」を読み進め、終了したら「オセロー」に入ります

12. 懐かしの映画・鑑賞会(二上 拓夫 080-1250-6151)

9月11日(火)10:00～12:30 西新町会館
洋画「鉄道員」(’56年)イタリア ピエトロ・ジェルミ
9月25日(火)10:00～12:30 西新井町会館
邦画「清洲会議」(’13年)東宝 三谷幸喜の時代劇

13. 脳活サークル(加曾利 厚雄 2939-2308)

9月25日(火)13:30～16:00 こどもと福祉の未来館
3F 多目的室3号室
① アメリカンライフへの想い ② 憧れのニューヨーク会員
による「脳の活性化の為に自分の思いを実現する」話

14. 北欧の会(樋口 俊夫 090-6483-7993)

10月2日(火) 11:30～14:00 頃
第88回例会 会食 他

15. 傍聴席(石堂 智士 2947-0835)

9月18日(火)14:00～16:30 新所沢東公民館 学習室
「会員フォーラム」講師:村瀬ほか 後半は「市議会改革を学
ぶ」をテーマに自由討論会に切り替えます。
10月15日(月)「自由民主党・無所属会派」質疑応答

16. 民話の会(仲山 富夫 090-3902-0283)

9月27日(木) 柳瀬地区民話由來地巡り
(「公園を楽しむ会」の活動に参加)
黄林閣～天神社～東光寺～塚越地蔵～滝の城址公園～
滝の城 *9月28日(金) こども未来館で定例会

理事会報告

7月9日(月)第8回理事会開催
◆ 6月22日から始まった文芸講座4回の受講者は予定の
95名満席となりました。◆サークル発表会に代わる講演会講
師の内部候補案が出され、9月以降の理事会で開催を検討
することになりました。◆9月6日25期修了生対象にOB3
団体説明会を開催。サークル紹介特別号を25期対象に発
行。◆来期理事交替サークルは候補者選考を開始してくださ
い。◆11月20日総会に向けて、各サークルの活動報告を9
月末日目標にまとめてください。
次回理事会 9月10日(月)新所沢東公民館 研2号

みんなの広場 第7回

地球環境に学ぶ 井手 敏直

近代科学資料館～計算機の歴史

夏の暑い日、飯田橋の近代科学資料館（東京理科大学内、入場無料）を覗いてみた。

ここには計算（機）に関する古いものから近代までの資料が展示してあり、リタイアしてかなり時間が経つ私は、ボケかかりつつある脳細胞に多くの刺激を受けて来た。算木、おもしろい算盤、からはじまり、理工系の学生はほとんど持っていた計算尺、また学生時代よく利用した手回しのタイガー計算器も懐かしかった。（この計算器は除算で回しすぎると“チン”とアラームベルが鳴った）そして電卓が登場し、事務の女性の業務に大いに威力を発揮。さらに汎用コンピュータ、PC、と皆さんご存知の製品が展示してあった。これ以外にもアナログ微分解析機、パラメトロン電子計算機、また計算機とは違うが録音技術として蓄音機の展示もあった。計算機はますます小型・高速化しスパコンが普及、昔から名前だけはあったAIも現在は第3世代となり実用的になってきた。

最近は量子コンピュータなるものが話題を呼んでいる。この量子コンピュータは、この業界で仕事してきた私にも今一つよく解らないが、今後どう開発され実現してゆくか楽しみでもある。



タイガー計算器



むさし野俳句会（三十年八月）作品抄



手に取れば草市のものいと軽き
四十度死ぬると思ふ炎暑かな
塩飴の核の溶けゆく街酷暑
東山のせて山鉾せまりくる
盆踊りはねて佃のもんじや焼き
惜命のなかなか鳴くや雨の中
満ち足りし踊り帰りの下駄の音
黙祷は夫婦の慣らひ終戦日
病癒ゆ米粒ほどな草の花
山里の木橋の袂茄子の馬

平栗 彰子
宮本 信生
荒幡 千鶴子
飯泉 陽子
井出 昇
海老澤 愛之助
粕谷 のぼる
小林 貞夫
小林 典子
佐藤 八郎

村の名の残る最後の盆をどり
青年の汗の滴る教習車
大接近の火星ほんのり赤き夏
出水後の土砂に思ひ出何かも
救急車休む間もなき酷暑かな
踊りたしなれど眺むる盆踊
盆踊り見様見真似に笑みこぼる
日本中黙つてしまふ酷暑かな
杖を置き一世一代盆踊

白神 恵子
高梨 千代
高橋 三加子
高光 泉
利根川 啓一
中嶋 弘子
中村 直子
橋本 佑子
鈴木 征子

《編集後記》

9月の声を聞くと、ニュースで、命にかかわる危険な暑さなどと、熱中症対策を呼掛けられた毎日の猛暑が嘘のように、風が秋めきほっとします。電力の融通が進み供給が安定し、省エネも浸透した為、エアコン使用を勧められるとのことです。あの猛暑は世界的で北極圏でも30℃を越えた様です。文部科学省も公立小中学校のクーラー設置支援財源を確保したようで、猛暑への生活の適応が求められます。

今年73回目の平成最後の終戦記念日を8月15日に迎えました。私達のほとんどは、終戦前後の体験をしています。川柳をデーサービスで教え、課題「飛行機」で詠んで貰ったとき、機銃掃射を受けた、飛ぶ順番が来ないことを祈ったと男性、無事にもどって欲しいと女性、普段話題にならない体験を詠み、話されました。「戦争と平和」のページは貴重な体験を表わし、また、後生に伝えるページとなるのではないかと。原稿の協力を宜しくお願い致します。

(中島 記)

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)

川柳三四 作品発表表

中島 峯生 選

課題「小遣い」

毎日自由生きるこの身分
小遣いを爪のおしゃれに輝かす
欲しいかい小遣い場所は妻財布
がま口をひろげて見せて上目する
お小遣い孫の額きき財布とじ
お盆玉やはり孫には気前よく

鼻 鬚
どうし
海さとし
丘の河童
突拍子
庵閑子

「自由句」

青春は夏本番で行こう海
朝に夜フル回転の救助隊
エアコンをキンキンにして毛布かけ
熱帯夜うちのかみさんしっぽ出す
いつ来ても宝石のよう孫光り
台湾に避暑に行つたと得意がり

海さとし
どうし
突拍子
丘の河童
鼻 鬚
庵閑子

次回（第35回） 課題「アルバイト」そして「自由句」
締切り日：9月20日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp

FAX04-2928-1161